

日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行
日吉台学区
株式会社リカレ

編集責任者
野々口 義信

日吉台学区
個人情報保護方針
取り扱い文書



交通事故ゼロ日吉台めざし

日吉台新聞、事故防止キャンペーンを展開

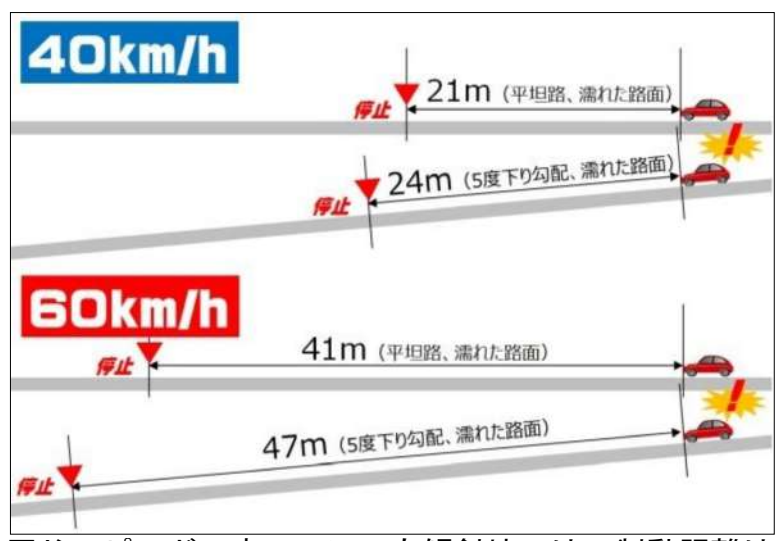
今年1月19日早朝、日吉台至明こども園前の交差点で、痛ましい交通事故が発生した。現場は、高橋川沿いに2本の道路とスピードが出やすい急坂の道路が交差する信号機がなく以前から重大事故の可能性が指摘されていた交差点。日吉台新聞編集部では、事故を契機に事故防止キャンペーン「交通事故ゼロ日吉台」を展開することを決め、今後の紙面で学区から交通事故絶滅を願う記事を随時掲載することとしている。

学区ホームページでも注意呼びかけ

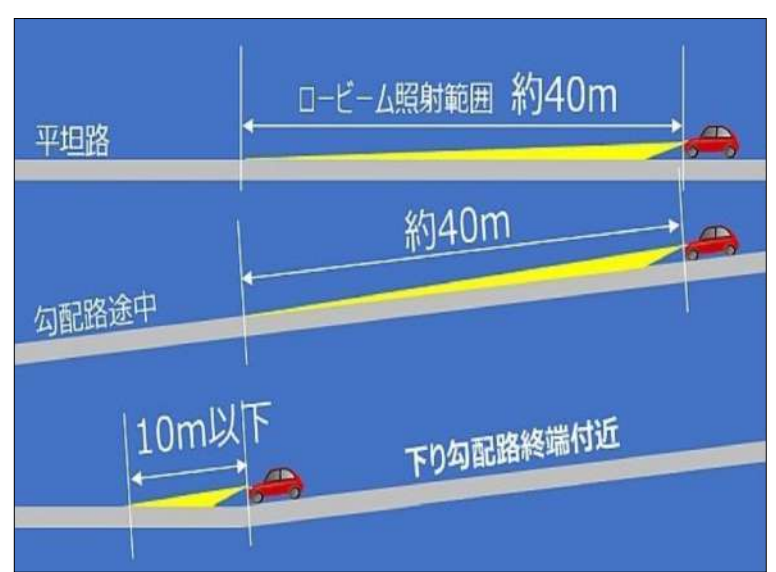
学区のホームページでも「交通安全についてのお願い」として、学区内で死亡事故が発生したことを取り上げ、学区民に注意を呼び掛けている。

ホームページでは、日吉台学区内住宅地が多い急こう配の坂道での運転について視点をあてて注意点をまとめた。

中央通りは、日吉台小北東角の交差点から今回事故発生が起きた信号機のないこども園まで延長230m、高低差20m、傾斜角約5度の急こう配道路



同じスピードで走っていても傾斜地では、制動距離は伸びる



夜間傾斜地の道路を下りてくると平坦部の交差点では極端にヘッドライトの照射範囲が短くなる

坂を下りきると高橋川をはさんで25mの平坦部の交差点があり、今回はこの平坦部で事故が発生した。

日吉台は、山間部を切り開いて造成された住宅地で、このような急こう配道路は、4丁目バス停付近、日吉台診療所前など各所に点在している。

急こう配道路を車で走ると自然にスピードがあるのは当然。同じ速度で走っていても平坦道路と比べ制動距離は伸びるので注意が必要だ。雨天で路面がぬれている住宅地内道路を制限速度の40km/hで走行している急ブレーキをかける平坦道路では約21mで停止するのに

現場の交差点のように下り坂から平坦部へ変わる部分について夜間の運転についてもホームページでは注意喚起。車のヘッドライトは、車の保安基準でロービームで40m、ハイビームで約100m照射することになっている。しかし、車が下り坂を下りきり平坦部へ差し掛かると平坦部の交差点は、車から見ると逆に上り坂

対し事故が起きた5度の下り坂では停止するのに24mと制動距離が15%ほど伸びる。さらに学区内では違反だが速度60km/hと同じ傾斜地では、制動距離は大きく伸び47mも走ってしまう計算結果になるといえる。

対し事故が起きた5度の下り坂では停止するのに24mと制動距離が15%ほど伸びる。さらに学区内では違反だが速度60km/hと同じ傾斜地では、制動距離は大きく伸び47mも走ってしまう計算結果になるといえる。

事故現場でスピード取り締まり

事故防止対策会議も

交通安全死亡事故を重視した大津署、大津市、学区自治連合会、学区の関係各種団体は2月7日、事故現場のこども園前の交差点で、事故再発防止対策などについて話し合いを行った。

また、大津署は、2月25日、事故現場のこども園前で、レーザー取り締まり機による速度取り締まりを行なった。

現場の話し合いでは、地元から信号機の設置や車両の制限速度の強化などの対策、見直し改善策、安全な横断を促す対策などの対策案がだされた。



下り坂走行注意

- ◆ 自然加速で速度超過
- ◆ 制動距離増加
- ◆ 終端付近見通し不良

制限速度を守り 終端付近では最徐行

に見え、極端にヘッドライトの照射範囲が短くなり、歩行者などが夜間歩いていると発見遅れにつながるという。

車だけでなく歩行者に対しても交通ルールを守り、安全な通行を求めている。

夜間車からのヘッドライトで照らされても運転者は、歩行者に気づいていないことも多く、夜間や薄暮など見通しの悪い時には、目立つ服装での通行、帽子や靴などに反射テープの着用も有効という。たまに、ウォーキングや散歩などで歩道があるのに車道を歩いている人もみかけるが、歩道が設置されているところは、必ず歩道を通るように歩行者にも交通安全ルールの徹底を呼び掛けている。

歩道のある道では必ず歩道を歩きましょう

夜の歩行時は明るい色の服・反射材を

湖西道路4車線化、遮音壁の設計案でできる



遮音壁が設置される4東地区の湖西道路沿い。自治連に示された遮音壁設計案(右)



高さ3.5m、工期は、3か月から半年 4東

湖西道路4車線化拡幅工事に伴う騒音対策の遮音壁の設計案が出来あがり1月27日、日吉台市民センターで、国土交通省滋賀国道事務所による説明会が行われた。説明会には、学区自治連合会の丸山郁夫会長、学区湖西道路騒音対策特別委の北海彰委員長、市川事務局長らが出席した。

説明会で国は、先に行つた騒音測定結果が国の環境基準の規制値を超えていないことを根拠に、4丁目東区域を通る湖西道路で、当初計画通り道路のり面角1.5mのところから支柱を建て高さ3.5mの遮音壁を設置。支柱の両サイド1.5m幅をコンクリートで固める。遮音壁は銀白色のアルミ製になると

いう。工事のさい、現在植えられる樹木は伐採、大津市との境界にあるフェンスも一時撤去の予定。1丁目南地域については、既存の遮音壁があり、国は、4車線開通後も環境基準を満たすとして新たな工事は実施しない方針を改めて示した。工期は、3か月から半年間を予定している。

工事開始にあたり、地元として、4車線化工事完成後、改めて沿線で騒音測定、基準値を超えることがあれば、遮音壁のかさ上げ工事などの追加対策工事の実施と遮音壁外側に樹木の植栽を求めた。これに対し、国側は開通後の追加工事については、善処することを約束しているという。

日吉台学区の東端を南北に走る湖西道路坂本北IC―真野IC間、6.6kmは、現在上下2車線で開通しているが、観光シーズンや朝夕のラッシュ時には車両が集中し交通渋滞の常習地。南行きは

雄琴IC、北行きは坂本ICを先頭に渋滞が多発、沿線住民から早期の4車線化が望まれていた。工事は、現在の湖西道路東沿いの琵琶湖側に新たに2車線を整備、3mの中央分離帯をはさんで上下7m、幅20・5mの4車線道路となる。4車線化完成後の通過交通量を1日4万7200台と想定している。4車線化が完成すると、真野ICから藤尾南ランプまで通常24分かかっていたものが14分と最大で10分短縮すると国交省滋賀国道事務所ではみている。

今年も学区に桜植樹

日吉台小では、卒業記念植樹

一日吉台に100本の桜植樹計画を進める日吉台花と緑の会(北海彰会長)は、2月24日、昨年引き続き各丁の児童公園愛護会などにジンダイアケボノ桜などの桜の苗木38本を配布。2月から3月初旬にかけ各児童公園などで準備が進められ地

元の手で植樹が行われる。植樹計画がすすめられているジンダイアケボノ桜は、花は淡紅色の一重咲きの中輪。東京都立神代植物公園に原木があり、ソメイヨシノより花色が濃く、てんぐ巣病にかかりにくく日本花の会ではソメイヨシノの後継品種として栽培奨励している。

この桜は、県緑化推進会が、関西みらい銀行緑と水の基金から寄贈を受け、日吉台花と緑の会が配布を受けたもの。昨年配布、植樹された苗木は42本。高橋川の河川敷や児童公園などに植えられた。1丁目南地区



昨年の桜植樹(4東の11号公園で)

空き家対策委の活動報告

学区空き家対策委員会は、令和3年度の対策委の活動報告をまとめ、学区自治連合会の定例役員会で報告した。対策委の3年度の活動は、令和4

年3月末まで続くが、実際の活動は、3年12月に終えており、活動をまとめた。対策委は、例年月に1回、月末の週に委員会を開催しているが、新型コロナウイルス禍で11月まで委員会開催を中止、デルタ株による感染症が落ち着いた11月30日に再開した。

維持、清掃活動などAプラン、Bプランともコロナ禍にもかかわらず21軒の空き家所有者と連絡を取りながら活動を継続させていた。

夏まつり、人材とアイデア募集



夏まつり実行委のリニューアル化を計画する学区自治連合会は、新しい夏まつりを創造するアイデアと人材を学区民から募ることを決め、募集チラシをホームページに掲載するとともに各丁を通じ住民回覧する。

募集するのは、自分や所属する団体が行うパフォーマンスをみんなに見て欲しい人、出店したい、サポートスタッフとして支援、新しい形で参加したい人、団体など。もちろん従来の夏まつりに参加していた人、団体の継続参加も歓迎している。

参加希望の個人、団体は代表者の氏名、メールアドレス、電話、パフォーマンスをみんなに見て欲しい人、出店したい、サポートスタッフとして支援、新しい形で参加したい人、団体など。もちろん従来の夏まつりに参加していた人、団体の継続参加も歓迎している。

資源ごみは 曜日

木

新聞/雑誌/雑紙、段ボール、古布、アルミ缶などを地域で資源回収しています。

資源回収は地球にやさしいだけでなく、日吉台全体で年40万円以上(大津市助成金の合計、直近5年実績)の自治会収入になっています。ご協力をお願いします。

つながる安心

お出掛けの際は スマホ・携帯を持ちましょう